**【テーマ４】　総合治安対策の推進**

|  |  |
| --- | --- |
| **めざす方向** | **◎大阪の成長を実現するため、人や企業を呼び込むとともに、府民が安心して、大阪で住み、暮らせる土台となる「治安」の改善に力を注ぎます。**  **・地域のあらゆる方々と協力・連携し、またその資源を活用して、地域の皆さんの防犯ボランティア活動を根付かせ、さらに活性化させるとともに、防犯環境の整備を促進する等、地域防犯力の向上を図ることにより、安全なまちづくりを推進します。**  （中長期の目標・指標）  　　・　府民の身近で発生する犯罪を減少させ、府民の体感治安を向上 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **府民の身近で発生する犯罪の抑止に向けた取組の推進** | | | | | | |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | |  | **＜進捗状況（H29.３月末時点）＞** |
|  | **■地域防犯力の向上**  ・地域安全センター（※9）の設置促進や青色防犯パト  ロール（※10）活動の普及促進、活動支援をする。  ・子どもや女性を犯罪から守る取組を推進する。  ・警察や市町村、事業者等と連携した広報啓発活動を  実施する。  （スケジュール）  　年間を通じて、地域安全センターの設置及び防犯カメラ補助制度創設の働きかけを実施 | ◇活動指標（アウトプット）  ・市町村や同教育委員会、自治会等へ、府の補助制度  （※11）を活用した地域安全センターの設置促進。  　　地域安全センター未設置校区（287校区）の解消  ・府の補助制度（※12）を活用した通学路への防犯カメラの設置促進。  　　防犯カメラ補助制度未設置市町村(11市町村)の解消  ◇成果指標（アウトカム）  （定性的な目標）  ・地域安全センターを拠点とした防犯ボランティア活動の活性化による地域防犯力の向上及び防犯カメラの増設による抑止力の向上により、府民の身近で発生する犯罪を減少させ、府民の体感治安を向上させる。  （数値目標）  ・地域安全センター全小学校区設置：988校区  ・防犯カメラ設置補助制度全市町村創設：43市町村 | | ○土木事務所と連携し、市町村、同教育委員会、自治会、防犯ボランティア団体等と調整を図り、地域安全センターの設置を進めた。  　・地域安全センター設置　新規 284校区  　　　累計985校区（988校区（目標））  　・府補助の活用実績　７市町  ○市町村防犯担当者連絡調整会議での事業説明や市町村を訪問し働きかけを行い、防犯カメラ補助制度の創設を進めた。  　・防犯カメラ補助制度創設　新規５市町  　　　累計３７市町（４３市町村（目標））  　・独自でカメラを設置した市町村　5市町村  ○刑法犯認知件数（平成28年中）  　　122,136件  　（前年同期比　▲10,335件、▲7.8％） |
| **性暴力・性犯罪の被害者支援** | | | | | | |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | | **▶** | **＜進捗状況（H29.３月末時点）＞** |
|  | **■性暴力・性犯罪の被害者支援**  　・性暴力救援センター・大阪SACHICOを核とした性暴力被害者支援ネットワークの更なる強化を図り、国（内閣府）のモデル事業も活用しながら、性犯罪・性暴力被害者に対する支援体制を強化する。  （スケジュール）  　年間を通じて、協力医療機関のネットワークの更なる充実・  強化の働きかけを実施 | ◇活動指標（アウトプット）  ・連携協力会議を通じて、性暴力救援センター・大阪SACHICOを核とした協力医療機関のネットワークの更なる充実・強化を図るなど性暴力・性犯罪の被害者に対する支援体制を強化。  ◇成果指標（アウトカム）  （定性的な目標）  ・被害者が身近な場所で必要な支援を受けられ、被害の声を上げやすい環境づくりを進*める。* | | ○連携協力会議を通じて、協力医療機関の拡大に取組み、大阪SACHICOを核とした協力医療機関のネットワークの充実強化を図った。  ・協力医療機関の拡大  （中河内地域：１医療機関が新規参画）  　計９医療機関の参画  ・連携協力会議を開催  （５月、８月、12月、2月） |
| **少年非行防止対策の推進** | | | | | | |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | | **▶** | **＜進捗状況（H29.３月末時点）＞** |
|  | **■少年非行防止対策の推進**  ・警察等とも連携した少年非行防止活動ネットワークづくりと非行防止・犯罪被害防止教室の実施を促進する。  （スケジュール）  ・年間を通じて、ネットワーク未構築市町村や教室未実施校に対する働きかけを実施 | ◇活動指標（アウトプット）  ・市区町村における少年非行防止活動ネットワークの構築促進及び活動支援。  　　少年非行防止活動ネットワーク新規構築：10市区町  　　巡回街頭指導や研修会の実施：年間70回  ・府内全小学校における非行防止・犯罪被害防止教室の実施。    ◇成果指標（アウトカム）  （定性的な目標）  ・非行防止にかかる地域活動等の活性化を通じ、府内の非行状況を改善させる。  （数値目標）  ・少年非行防止活動ネットワークの構築：51市区町  　※府内66市区町村(42市町村+大阪市24区)  ・非行防止・犯罪被害防止教室の実施率：100％  （H27年度実績97.5％） | | ○少年非行防止対策の推進のため、少年非行防止活動ネットワークの構築促進・活動支援及び府内小学校において非行防止・犯罪被害防止教室を実施した。  　 ・ネットワーク構築　新規17市区  　　 　累計58市区町　（　51市区町（目標））  ※　大阪市内11区（都島区、平野区、淀川区、鶴見区、住吉区、城東区、天王寺区、浪速区、阿倍野区、東住吉区、北区）及び6市（寝屋川市、高槻市、貝塚市、富田林市、堺市、泉佐野市）の計17市区において、新たにネットワークを構築。  　　・巡回街頭指導、研修会を実施  　　　　累計71回　（　70回（目標））  　 ・警察や教育委員会と連携し、非行防止・犯罪被害  　　 防止教室を積極的に実施した。  　　　　教室の実施率　　98.3％  （H27年度実績97.5％）  〔参考〕  刑法犯少年の検挙・補導人員  　 3,770人（前年比　▲1,038人、▲21.6％） |
| **【部局長コメント（テーマ４総評）】**  自己評価 | | | | | | |
| **＜取組状況の点検＞** | | | | **＜今後の取組みの方向性＞** | | |
| **■　地域防犯力の向上**  **当初の目標を、ほぼ達成することができた。**  **・　防犯ボランティアの活性化による地域防犯力の向上および防犯カメラの増設による抑止力の向上を図るため、地域ボランティアの拠点となる地域安全センターの設置を促進し、また市町村に対し防犯カメラの補助設置制度の創設を進めた。**  **■　性暴力・性犯罪の被害者支援**  **当初の目標を、ほぼ達成することができた。**  **・　性暴力・性犯罪被害者に対する支援体制を強化するため、連携協力会議を通じて、性暴力救援センター・大阪SACHICOを核とした協力医療機関のネットワークの更なる充実・強化を図った。**  **■　少年非行防止対策の推進**  **当初の目標を、ほぼ達成することができた。**  **・　 府内の非行状況を改善させるため、新たな地域における非行防止活動ネットワークの構築や、非行防止・犯罪被害防止教室の実施率向上など取組みを進めた。** | | | | **■　地域防犯力の向上**  **・　地域防犯力の向上のため、引き続き、警察、市町村、市関係団体と連携を強化し、地域安全センターを中心とした防犯ボランティア活動の活性化や青色防犯パトロール等の活動の促進を図る。**  **■　性暴力・性犯罪の被害者支援**  **・　被害者支援のため、大阪SACHICOを核とした地域の協力医療機関とのネットワークの更なる充実・強化に向けて取組みを推進する。**  **・　また大阪SACHICOの相談支援事業等への補助を通じて、被害者支援を充実し、被害の潜在化・継続化の防止を図る。**  **■　少年非行防止対策の推進**  **・　少年非行防止対策については、警察等と連携し、未構築市区町村における少年非行防止活動ネットワークの新規構築を行うとともに、地域での活動の定着化や、更なる活性化に向けた支援を行う。**  **・　また非行防止・犯罪被害防止教室についても引き続き、府内全小学校で実施する。** | | |